

平成 15 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 上 野 昌 利
 (コード番号 6834)
 問 合 せ 先 経 営 企 画 室 齋 藤 祐 司
 (TEL . 047 - 388 - 6401)

平成 16 年 3 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 7 月 31 日の平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況発表時に公表しました平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)の通期業績予想(連結・個別)及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1 . 平成 16 年 3 月期 連結業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,824	855	629
今 回 修 正 予 想 (B)	5,765	1,229	763
増 減 額 (B - A)	941	374	134
増 減 率 (%)	19.5%	43.7%	21.3%

2 . 平成 16 年 3 月期 個別業績予想の修正

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,560	909	691
今 回 修 正 予 想 (B)	5,735	1,300	839
増 減 額 (B - A)	1,175	391	148
増 減 率 (%)	25.8%	43.0%	21.4%

3. 修正の理由

平成 16 年 3 月期の上半期におきましては、記録再生用メディアとして DVD が一般化してきたことに伴い、DVD 成形用金型に対する需要が拡大いたしました。特に期初からは DVD レコーダーの低価格化やパソコンへの DVD 標準搭載を背景に、台湾のディスク成形メーカーからの DVD-R 成形用金型に対する注文が増加しており、下半期も好調に推移することが見込まれております。一方の光通信市場は国内においてブロードバンドアクセスのためのインフラ投資が加速しているものの、北米や欧州は依然として低迷を続けております。このため、平成 16 年 3 月期の当社グループの連結売上高は、前回予想 4,824 百万円に対し 5,765 百万円（前期比 35.3%増）となり、941 百万円増加する見通しであります。

また、売上高の増加による生産効率の向上や一層の原価低減への取り組みにより、経常利益は前回予想 855 百万円に対し 1,229 百万円（前期比 6.2 倍）となり 374 百万円増加、当期純利益は前回予想 629 百万円に対し 763 百万円（前期は 1,186 百万円の当期純損失）となり 134 百万円の増加となる見込みであります。

上記に伴い、当初 1 株当たりの期末配当金を 20 円と発表しておりましたが、これを 30 円に修正させていただきます。

4. 参考：前期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）の実績

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 年間配当金
連結業績	4,262	197	1,186	
個別業績	4,108	303	1,084	20 円 00 銭

以 上

（注意事項）

当業績予想数値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は記載の業績予想数値と異なる場合がありますことをあらかじめご承知おきください。